

卒 業

みなさんにとって、卒業は「何からの卒業ですか？」

卒業は、何も学校の教育的な意味での卒業だけではありません。

習慣からの卒業や人間関係に終止符を打つ場合も卒業と呼ぶのかもしれませんが。

卒業は区切り。卒業は始まり。卒業は一筋の光。卒業は目覚め。……

縛られているものから「卒業」するには成長が必要です。

小さな卒業を繰り返して、人は人として成長していきます。卒業のカタチもさまざまです。

卒業の意味合いも人によって違います。

卒業は悲しみ。卒業は微笑み。卒業は後悔。卒業は喜び。……

2年前、卒業式直前に学校は休校になりました。今までどおりの卒業式ができない状況は、新たなカタチを生みました。歌わない。心で歌詞をかみしめる。目で返事をする。思い出を映像で流す。今までのカタチをこえる新たなカタチ。慣習からの卒業には、工夫と創造力が必要です。

○夢を見るから、人生は輝く 【モーツァルト】

○物語はここから始まるのだ 【手塚治虫】

○うしろをふりむく必要はない。あなたの前には、いくらでも道があるのだから。 【魯迅】

○どんな人物も自分が思っている以上のことができる。 【ヘンリーフォード】

○神様は私たちに成功してほしいなんて思っていない。ただ挑戦することを望んでいるだけ。

【マザーテレサ】

どの言葉が胸に刺さるかは、自分が求めているものによって変わります。何から「卒業」したいですか？そして、その先に何を思い描きますか？

子供たちは、何から卒業するのでしょうか？義務教育を終えることだけを意味する「卒業」は単なる儀式です。

何から卒業するのか。その先にあるものに「光を当てる」ことが真の「卒業」です。

